

米原新時代へ

— 変革と挑戦 —

市長が示した令和3年度施政方針の中から、主要事業の概要をお伝えします。
市議会第1回定例会で令和3年度予算を承認いただいた後、各種事業を着実に進めていきます。

2つの重点的な取り組み

■本庁舎整備事業

5月に本庁舎を開庁し、さらなる駅周辺の賑わい創出につなげるため、米原駅自由通路と庁舎を結ぶ連絡通路を整備します。

■観光案内所の開設・運営

近隣市と連携し、広域的な観光案内等を行う観光案内所を本庁舎内に開設します。

■柏原駅周辺地域活性化事業

柏原宿活性化プランに基づき、柏原駅前の広場や駐車場の整備を進めます。

米原新時代、
新たなまちの核づくりへ



■自治会活動緊急応援補助金

集会施設での感染症対策や子どもの安全な遊び場の整備に取り組む自治会を支援します。

■重層的支援体制整備事業

複雑化した課題に対し、関係機関との連携を密にとりながら、包括的に相談を受け止める支援体制を築きます。

■子どもの貧困対策事業

学校連携マネージャーを配置し、生活困窮や課題を抱える家庭の子どもへの支援を強化します。

ポストコロナ社会
を見据えて

■事業者の感染症対策

・デジタル化支援

市内事業者のキャッシュレス決済の導入などのデジタル化や感染症対策を支援します。

■就学援助

・特別支援教育就学奨励事業

さまざまな理由で就学に不安を抱える子どもたちを応援するため、学用品などの費用に加え、クラブ活動費の援助を始めます。

市長就任のごあいさつ

2月の市長選挙において、市民のみなさまのご支援をいただき、引き続き米原市政を担わせていただくことになりました。

5月には、いよいよ本庁舎が開庁を迎えます。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、我々市役所に課せられた最大の使命は、市民の命と健康、暮らしを守り切ることであります。特に、ワクチン接種については、市民のみなさんに安全かつ円滑に受けていただけるよう、引き続き関係機関と連携しながら準備を進めてまいります。

そして、令和3年度はポストコロナ社会を見据えた「新たな市民生活への支援」に取り組み、時代やニーズに合致した、米原新時代にふさわしい市政を進めてまいります。

米原市長 平尾道雄



6つの基本目標

福祉

健やかで
安心して暮らせる
支え合いのまち



■放課後児童クラブの施設整備

米原小学校の敷地内に放課後児童クラブ施設を整備します。また、春照・坂田小学校区の児童送迎用車両を購入します。

■高齢者等居場所づくり事業

高齢者が気軽に通える居場所をつくる「地域お茶の間創造事業団体」の普及促進を図り、介護予防や健康づくりを支援します。

環境・防災

水清く緑あふれる
自然と共生する
安全なまち



■地域の災害対応力強化

地域の防災備蓄等の充実に向けた補助を行うほか、地域防災リーダーの育成支援により、地域で地域を守る防災力の向上を図ります。

■市の災害対応力強化

災害発生後の迅速な情報収集や効率的な災害対応の強化に向け、ドローンを導入するほか、避難所での感染症対策に必要な資機材を配備します。

都市基盤

心地よく暮らせる
にぎわいと交流を
支えるまち



■公園検討事業

新しい人の流れや地域の活力の創出に向け、公民連携による都市公園事業として磯公園(仮称)の整備に着手します。

■まいちゃん号 予約配車システム導入事業

乗り合いタクシーまいちゃん号のインターネットによる予約配車システムを導入します。

教育・人権

ともに学び、輝き合う
人と文化を育むまち



■学校施設維持補修事業

学校施設の長寿命化計画に基づき、双葉中学校と坂田小学校の長寿命化事業を進めます。

■学びあいステーション管理運営事業

公民館から、生涯学習を核とした市民の交流拠点として生まれ変わる「学びあいステーション」について、設備改修を進めます。

産業経済

地域の魅力と
地の利を生かした
活力創出のまち



■鳥獣対策マスタープラン推進事業

野生鳥獣被害への対策として、侵入防止柵の設置や、自然災害による被害の復旧を支援します。

■スマート農業推進戦略策定事業

持続可能な地域農業の実現に向けて、ロボット技術、AIなどの先端技術を活用したスマート農業に関する基本戦略を策定します。

都市経営

まちづくりを
進めるための基盤



■山東支所整備事業

現山東庁舎を山東支所として整備し、総合窓口や地域課題への対応に当たります。また、近江地域と伊吹地域には総合窓口機能を持つ市民自治センターを配置します。

■市役所のデジタル化推進

市役所の手続きや申請などのオンライン化を進めます。